

藤枝市教育委員会

令和 6 年 3 月定例会会議録

藤枝市教育委員会 令和6年3月定例会会議録

1 開催日 令和6年3月27日

2 場所 藤枝市役所西館3階 特別会議室

3 会議に附した事項 (別紙のとおり)

4 出席委員	教 育 長	中村 禎
	教育長職務代理者	野中 進
	委 員	永田 奈央美
	委 員	永田 恵実子
	委 員	福與 繁太郎

5 欠席委員

6 出席した事務局職員	教 育 部 長	杉原 一行
	教 育 政 策 課 長	金原 雅之
	学 校 教 育 監	小山 純一
	学 校 給 食 課 長	堀田 匡
	生 涯 学 習 課 長	小西 ゆう子
	図 書 課 長	杉本 守
	指 導 主 事	岩本 知之
	教 育 政 策 係 長	大石 朋晴
	総 務 係 長	田中 英忠
	書 記	石川 聡美

教育委員会 令和6年3月定例会

日 時 令和6年3月27日 午後3時30分
場 所 藤枝市役所西館5階 第2委員会室

1 開 会 午後3時30分

2 会議録署名委員氏名 野中進委員、永田恵実子委員

3 日程第1

教育政策課長 第3号議案 令和6年度藤枝市教育施策の策定について

学校給食課長 第4号議案 藤枝市学校給食費に関する規則の策定について

学校給食課長 第5号議案 藤枝市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則

学校給食課長 第6号議案 藤枝市教育委員会に対する事務委任規則の一部を改正する規則

4 日程第2 諸般の報告

教育部長 市議会2月定例会議会質疑応答要旨

教育政策課長 令和6年度教育費当初予算について
Pepper プログラミングコンテストの結果について
令和5年度学校経営研究委員会の研究結果について
「子どもが安心して学べる学校づくり」に向けての提言について

生涯学習課長 「学社協働によるウェルビーイング社会の構築～学社協働の実践・部活動の円滑な地域移行～」に関する提言について

5 閉 会 午後4時45分

開 会 午後 3 時 3 0 分

日程第 1

第 3 号議案 令和 6 年度藤枝市教育施策の策定について

福與委員 (19) 児童生徒を支援するサポート体制について、福祉部門との連携について触れた方がいいのではないか。

学校教育監 こども若者支援課に新たに教員を配置する、子ども発達支援センターの子どもの居場所づくり事業など、福祉部門で力を入れていく事業は、もちろん教育部門でも連携して行っていく。

永田恵実子委員 子ども発達支援センターが 6 月から子どもの居場所づくり施設を藤枝駅北口付近で行うようだが、その施設に行っても登校したということにはならないと聞いた。登校支援教室に行っても登校したことになるのか。

学校教育監 登校支援教室に通う児童生徒は、学校に来ているので登校していることになる。登校支援教室に来てからのカリキュラムは子どもによってさまざまで、担当教員と本人と決めていくことになっている。一方、居場所づくりの方は、家から一歩でよいことに注力しているものなので、そこに学びに関するカリキュラムはないもので、出席日数にカウントされることはない。

第 4 号議案 藤枝市学校給食費に関する規則の策定について

なし

第 5 号議案 藤枝市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則

なし

第 6 号議案 藤枝市教育委員会に対する事務委任規則の一部を改正する規則

なし

日程第2 諸般の報告

市議会2月定例会月議会質疑応答要旨

永田奈央美委員	川島美希子議員から、教職員の端末が古いという質問に、児童生徒の端末に合わせて教職員の端末も更新していくとの回答がありますが、具体的にどのように更新していく予定なのか。
教育政策課長	教職員の端末について、選定委員会でOSや機種を検討し、5月ごろ入札、早ければ8月あたりに納入が始まり、翌年2月にすべての教職員の手に渡る予定。令和7年度では児童生徒の端末について検討、購入を行い、令和8年度4月から新しい端末を使用できるようにする予定。
永田奈央美委員	教職員のOSが先に決まるのであれば、児童生徒の端末のOSは自動的に決まっていくのか。それとも、児童生徒の端末のOSを決めてから教職員のものも決めるのか。
教育政策課長	OSについてはこれから検討していくところであるが、国の方針により、県で共同調達するという話もある。教職員用にはどちらにも対応できるものを選定したいと思う。
永田奈央美委員	もし可能ならば、端末の選定に関わらせてほしい。
教育政策課長	よろしくお願いします。
教育長	ご協力ありがとうございます。
永田恵実子委員	多田晃議員からこ幼保小連携について質問があったが、志太は私立の幼稚園が多く、それぞれの特徴を生かすのが幼稚園の在り方であると思う。幼稚園や保育園こども園のスタートプログラムと言われている部分と、小学校のプログラムの架け橋期と言われる時期はとても重要な期間。過ごしてきた環境の違いや、個々の発達の違い、外国籍の子どもや不登園、不登校の子どもなど、様々な要素がある。そういったところを考えつつ、この架け橋期をつないでいただきたいと思う。
学校教育監	指導主事も1名増員になってので、永田恵実子委員の指摘のあった内容も含めてこども課と連携していきたいと思う。

令和6年度教育費当初予算について

なし

Pepper プログラミングコンテストの結果について

なし

令和 5 年度学校経営研究委員会の研究結果について

なし

「子どもが安心して学べる学校づくり」に向けての提言について

なし

「学社協働によるウェルビーイング社会の構築～学社協働の実践・部活動の円滑な地域移行～」に関する提言について

なし

閉 会 午後 4 時 4 5 分